

日本水道協会規格

JWWA
Z 103 : 0000

水道用バルブのキャップ

False cap for valves for water supply

1 適用範囲

この規格は、水道用バルブに用いられるキャップについて規定する。

2 引用規格

次に掲げる引用規格は、この規格に引用されることによって、その一部又は全部がこの規格の要求事項を構成している。これらの引用規格は、その最新版(追補を含む。)を適用する。

JWWA B 120 水道用ソフトシール仕切弁

3 用語及び定義

この規格には、定義する用語はない。

4 種類

キャップの種類は、開閉方向及び高さによって表1の4種類とする。

表1—種類

単位 mm

種類	開閉方向	高さ
左開 70	左開き	70
左開 50	左開き	50
右開 70	右開き	70
右開 50	右開き	50

5 構造、形状、寸法及び許容差

キャップの構造、形状、寸法及び許容差は、次のとおりとする。

a) 構造及び形状 キャップの構造及び形状の一例を図1に示す。

なお、キャップとバルブとのかん合部は、バックラッシュがないようにかつ容易に脱落しないように固定する。

b) 主要寸法 キャップの主要寸法は、図1による。

c) 許容差 キャップ寸法、軸線の振れ及び曲がりの許容差は、図1のとおりとする。

6 材料

キャップの材料は、適用するバルブ規格の規定による。

7 製品の呼び方

キャップの呼び方は、規格番号又は規格名称及び種類による。

例 1： 左開きキャップで高さが 70 mm の場合

JWWA Z 103 左開 70 又は 水道用バルブのキャップ左開 70

例 2： 左開きキャップで高さが 50 mm の場合

JWWA Z 103 左開 50 又は 水道用バルブのキャップ左開 50

例 3： 右開きキャップで高さが 70 mm の場合

JWWA Z 103 右開 70 又は 水道用バルブのキャップ右開 70

8 表示

キャップの表示は、図 2 のとおりとし、それぞれを高さ 2 mm 以上に鋳出しする。

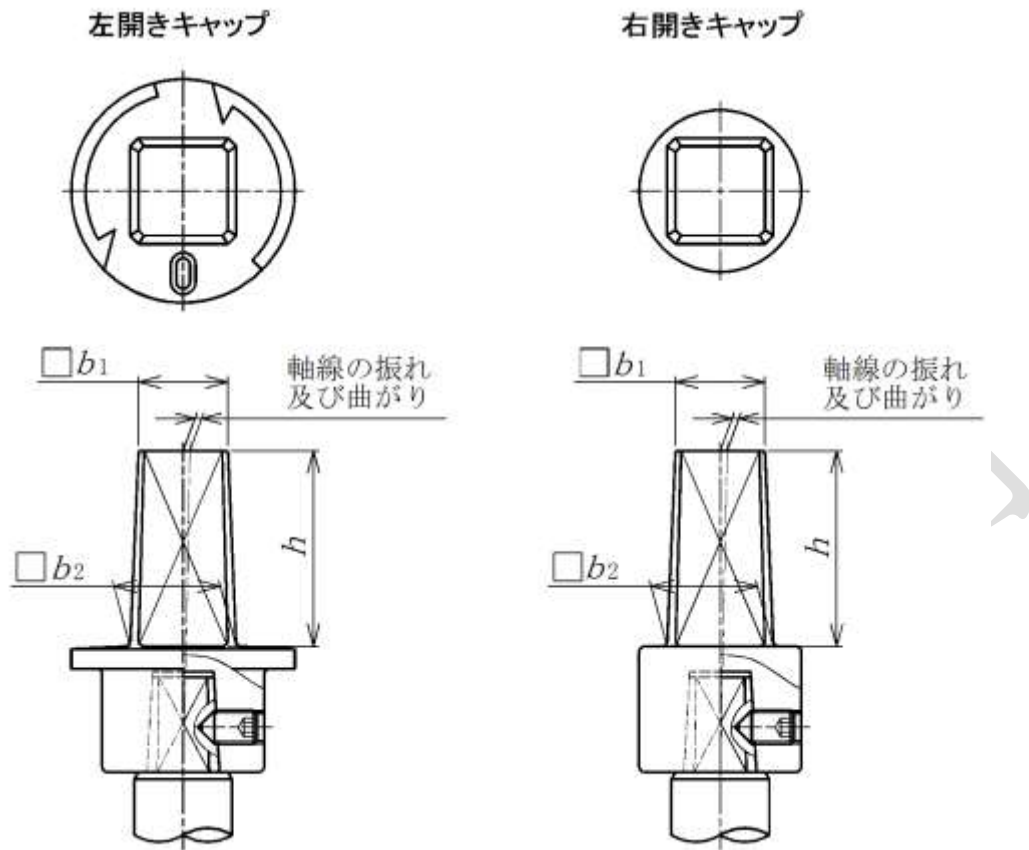
a) 左開きキャップ

1) 開閉方向を示す矢印

2) アルファベット文字“O”

b) JWWA B 120 のキャップ上端面

アルファベット文字“S”



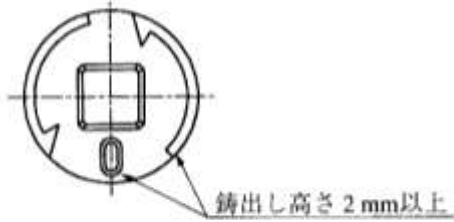
注記 弁棒との取付部の構造は参考とする。

単位 mm

高さ寸法	寸法			許容差			
	b_1	b_2	h	b_1	b_2	h	軸線の振れ及び曲がり
70	32	38	70	±1	±1	±1.5	1.5 以内
50	33.5	38	50	±1	±1	±1	1.5 以内

図 1—構造, 形状, 寸法及び許容差

左開きキャップの表示



水道用ソフトシール仕切弁のキャップの表示

左開きキャップ



右開きキャップ



図 2—表示

参考文献

JWWA B 103	水道用地下式消火栓
JWWA B 121	水道用大口径バタフライ弁
JWWA B 122	水道用ダクタイル鋳鉄(メタルシート)仕切弁
JWWA B 125	水道用耐衝撃性硬質ポリ塩化ビニル製ソフトシール仕切弁
JWWA B 126	水道用補修弁
JWWA B 131	水道用歯車付仕切弁
JWWA B 135	水道用ボール式単口消火栓
JWWA B 138	水道用バタフライ弁
JIS B 2062	水配管用仕切弁